令和４年９月２日

院内倫理委員会（迅速審査）議事録

院内委員：　三田副院長、白阪臨床研究センター長（副委員長）、渋谷統括診療部長、西本看護部長、吉野薬剤部長、田中事務部長

１）議　題：209「子宮脱に対する腹腔鏡下仙骨膣固定術（ロボット支援下）の導入」

実施責任者　産婦人科　飛梅孝子より、209「子宮脱に対する腹腔鏡下仙骨膣固定術（ロボット支援下）の導入」について申請があった。
腹腔鏡下仙骨膣固定術（ロボット支援下）は、2020 年 4 月より保険適応されているが、当院で保険請求するためには、腹腔鏡下仙骨膣固定術（ロボット支援下）に対して 3 例の経験を有する医が執刀し、施設認定を受ける必要がある。現在、当院にはその経験を有する産婦人科医が不在であり、導入後 3 症例については保険外診療となるため持ち回りにて審査を行った。
審議の結果、倫理的に問題なく、修正の上承認となった。

修正内容：
保険外診療実施計画書が子宮頸癌および子宮体癌に対するロボット支援手術を保険外診療で行うことについての文章になっており、必要症例数も１５例となっているので子宮脱についての文章へ変更すること

倫理委員会
委員長　三田　英治